

貿易理論：まとめ

なぜ貿易するのか？

→ 貿易によって全ての国が利益を得ることができるから.

→ なぜ貿易は全ての国を利するのか？

→ 比較優位（機会費用の相違）が存在するから.

----- ここまでは、特定の理論がなくとも説明可能 -----

→ 比較優位はなぜ存在するのか.

＝ どのような国がどのような財に比較優位を持つのか.

比較優位の源泉を説明する 2 つの古典的理論

理論 1 リカード：比較優位は技術レベルの（相対的な）違いから生じる.

→ 全ての財に関して生産性で相手に優っている国であっても，貿易を行うことで利益を得ることができる.

リカードの想定した世界（リカード・モデル）

- ・ 生産要素は労働のみ.
- ・ 労働の相対的な生産性が国によって異なる.

半導体・フリースの生産に必要な労働者数
(=技術レベル)

	半導体	フリース
日本	2 人	4 人
中国	10 人	5 人

理論2 ヘクシャー，オリーン：技術レベルに差がなくとも，生産要素（労働者と機械）の存在量の相対的な差があるならば，比較優位は生じ得る。

ヘクシャー，オリーンの想定した世界（HOモデル）

- ・生産要素は労働と機械（資本）。
- ・半導体・フリースの生産に必要な労働者数・機械数は日本と中国で同じ（＝技術レベルは等しい）。

半導体・フリースの生産に必要な労働と資本の量

	労働	資本
半導体	2人	10台
フリース	10人	2台

- ・労働と資本の相対的な存在量のみが異なる。

労働と資本の存在量

	労働	資本
日本	3,000人	10,000台
中国	5,000人	1,000台

ヘクシャー＝オリーン・モデルでは，貿易が国内の所得分配（誰が利益を得て，誰が損をするか）に及ぼす影響も考察することができる。この点も注意しておこう。

秋学期の予定

- ・貿易政策の理論（貿易と国内・国際政治）
- ・開発と貿易
- ・環境と貿易（専門ではありませんが，希望があれば）
- ・国際金融（国際間の資金の取引）をめぐる議論
- ・国際政治に関連してゲーム理論